

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月20日 (2010.5.20)

【公開番号】特開2008-257343(P2008-257343A)

【公開日】平成20年10月23日 (2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2007-96597(P2007-96597)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 3 G 15/36 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 K

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 3/00 3 0 0

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 3 G 21/00 3 8 2

G 0 3 G 21/00 5 6 0

B 4 1 J 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月24日 (2010.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得手段と、

自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得手段により取得された他の装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成手段とを有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記生成手段は、前記取得手段により取得された他の装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報、自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報の順で併記して地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記生成手段により生成された印刷データを印刷装置に出力する出力手段を更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記可変情報を、内容が単一のもの、内容が複数のものに区別し、当該区別の有無及び適用範囲を切り替えることを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 5】

物理的な対象を特定するコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報は内容が複数のものに区別し、自装置の動作環境の下で唯一の対象を特定するコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報は内容が単一のものに区別することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 6】

関連性を有するコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報をグループとして管理し、該グループをリストとして管理することを特徴とする請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 7】

自装置の動作環境を判断する判断手段と、

前回印刷時のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を記録し、前記判断手段で判断した際に、該記録したコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を参照する参照手段と、

前記判断手段での判断に応じて前記コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置より取得する取得方法を制御する制御手段とを更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、自装置の設置場所に応じて制御することを特徴とする請求項 7 記載の情報処理装置。

【請求項 9】

複数のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報の表示を制御する手段と、

前記複数のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を自動で取得するか又は手動で取得するかを切り替える手段と、

前記複数のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報から該可変情報の内容が単一のものを選択する手段と、

関連性のあるコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が揃って選択されるよう制御する手段と、

前記複数のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報から該可変情報の内容が複数のものを更に併記する手段と、

前記単一のものの選択か前記複数のものの併記かを他の機能と連動させて切り替える手段とを更に有することを特徴とする請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記複数のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報の設定数が最大でなければ、未設定領域に併記する情報を設定する請求項 9 記載の情報処理装置。

【請求項 11】

情報処理装置の取得手段が、コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得工程と、

前記情報処理装置の生成手段が、自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得工程により取得されたコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成工程とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 12】

前記生成工程は、前記取得工程により取得された他の装置のコンピュータまたはユーザ

を特定する情報を含む可変情報、自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報の順で併記して地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成することを特徴とする請求項 1 1 記載の情報処理方法。

【請求項 1 3】

コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得工程と、

自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得工程により取得されたコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成工程とをコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【請求項 1 4】

前記生成工程は、前記取得工程により取得された他の装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報、自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報の順で併記して地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成することを特徴とする請求項 1 3 記載のプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

また、本発明の情報処理装置は、コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得手段と、自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得手段により取得された他の装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

また、本発明の情報処理方法は、情報処理装置の取得手段が、コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得工程と、前記情報処理装置の生成手段が、自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得工程により取得されたコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜

像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、本発明のプログラムは、コンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を他の装置及び自装置より取得する取得工程と、自装置が集約型サーバとして動作している場合に、前記取得工程により取得されたコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報が地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成し、集約型サーバとして動作していない場合に、前記取得手段により取得された自装置のコンピュータまたはユーザを特定する情報を含む可変情報を地紋の潜像文字列として印刷される印刷データを生成する生成工程とをコンピュータに実行させることを特徴とする。